



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

3学期のスタート

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

本日、3学期がスタートしました。子供たちの元気な声や笑顔が学校のいたるところで見られます。エネルギーあふれる子供たちがいる学校は、本当にいいものだなあと改めて思いました。

さて、始業式では、私から、次のお話をいたしました。

.....

- ・正月飾りの門松に使われている松竹梅は、それぞれに意味があり縁起の良い植物であること。
- ・特に竹は、光に向かって、曲がらずに真っすぐに伸びていくとともに、成長していく過程で節を作りながら、折れない強い竹になること。



- ・節目という言葉は、竹の節から生まれた言葉であり、物事の大切な区切りになる時という意味があること。
- ・新年は1年の大きな区切りの時であること、3学期の始業式も大切な区切りの時であること。この節目を大切に、目標や計画を立て、実現に向け、竹のように真っすぐに進んでほしいこと。そして自分を支える節をしっかりと創り、大きく成長してほしいこと。

.....

3学期は、短い学期ですが、学年のまとめとなる大切な時期です。まとめをしっかりと行うことができれば、次の学年へ新たな

一歩を自信をもって、気持ちよく踏み出すこともできると思います。一日一日を大切に、子供たちと過ごしていきたいと思っています。

座間市成人式

1月10日(月)に、ハーモニーホール座間で、成人式が行われました。令和4年度の新成人は1,191名とのこと。成人式は新型コロナウイルス感染症対策として午前と午後の2部制で行われました。私は西中学校区の新成人が出席する午前の部に参加いたしました。

市長からの式辞、教育長からの励ましの言葉、市議会議長からの祝辞がありました。最後に、新成人を代表して成人の誓いの言葉がありました。誓いの言葉には、友人に感謝、先生方に感謝、家族に感謝、地域の方々へ感謝の言葉がありました。そして、「今度は、自分たちが周囲の支えになっていきましょう。」と会場にいる新成人全体へ呼びかけていました。温かく、力強く、前向きな言葉であふれていて、会場のみんなどもよく耳を傾けていることが伝わってきました。

式は最初から最後まで、とても落ち着いて行われました。閉会の辞のあとでは、司会を務めた神奈川県立座間総合高等学校の2名の生徒にみんな拍手を送り、会場に集う人達が一体となる素晴らしい成人式でした。

これからの社会を担う若い人達の今後の活躍を願うとともに、私自身も成長し続けていきたいと気持ちを新たにしました。